

事業番号 2021 - 復興 - 20 - 0069

令和3年度行政事業レビューシート ( 復興庁 )

事業名	社会福祉施設等災害復旧費補助金			担当部局庁	復興庁			作成責任者	
事業開始年度	平成25年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)			参事官 伊地知 英己	
会計区分	東日本大震災復興特別会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び 助成に関する法律(平成23年法律第40号)第48条第 1項、第3項及び第5項			関係する 計画、通知等	-				
主要政策・施策	障害者施策			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	東日本大震災を受け、被災した障害者施設等の復旧事業について、実地調査を行い被害額を確定した上で、その復旧に要する経費の一部を助成することにより、災害の速やかな復旧を図り、もって施設入所者等の福祉を確保することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	東日本大震災により被災した障害者施設等を復旧しようとする場合、復旧に要する費用の3分の2程度を補助する。(通常2分の1から嵩上げ)								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	43	642	0	0			
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	237	43	642	-			
		翌年度へ繰越し	▲ 43	▲ 642	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	237	43	642	0	110		
	執行額		237	0	480				
	執行率 (%)		100%	0%	75%				
	当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)		551%	-	#DIV/0!				
令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	社会福祉施設等災害復旧 費補助金	0	110	令和3年3月にかさ上げ率が確定した宮城県及び令和2年度に補助 金を執行した福島県の施設に対する補助率のかさ上げ分を計上。					
	計	0	110						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 3年度	目標最終年度 -年度
	当初の復旧予定施設数 (314)から対象外又は自費 復旧施設4施設を除いた全 ての施設の復旧	成果実績	復旧が完了した事業所数	件	297	299	300	-	-
		目標値		件	310	310	310	310	
		達成度		%	96	96	97	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	市町村からの復旧予定施設数の報告								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	本事業による支援件数(当初予算に対する交付決定 数)	活動実績	件	2	-	1	-	-	
		当初見込み	件	2	2	1	0	0	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	
	当該年度社会福祉施設等災害復旧費補助金交付決定 額(X)÷当該年度整備件数(Y)			単位当たり コスト	百万円	119	-	496	-
				計算式	X/Y	237/2	-	496/1	0

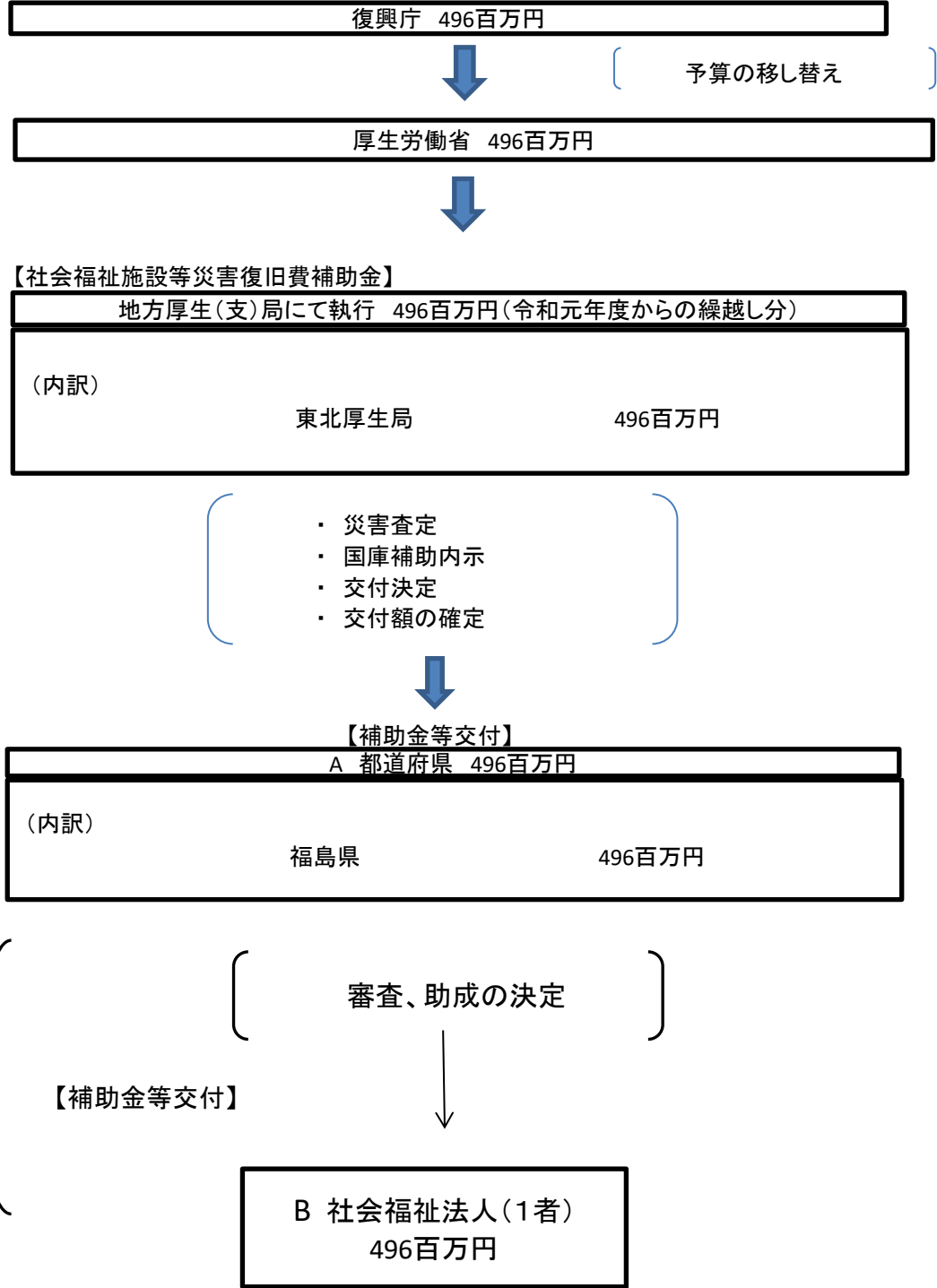
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	福祉・介護人材の養成確保を推進すること等により、福祉サービスの質の向上を図ること(施策大目標2)								
	施策	福祉・介護人材の養成確保を推進すること等により、福祉サービスの質の向上を図ること(施策目標Ⅷ-2-1)								
	測定指標	定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
			実績値	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	東日本大震災を受け、被災した障害者施設等の復旧事業について、実地調査を行い被害額を確定した上で、その復旧に要する経費の一部を助成することにより、災害の速やかな復旧を図り、もって施設入所者等の福祉を確保することを見込んでいる。									
	新経済・財政再生計画改革工程表 2020	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 年度	2年度	3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
				成果実績	-	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 年度	2年度	3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-		
	達成度	%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係										

事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	東日本大震災により被災した施設原形復旧にかかる経費の補助は、施設管理者の財政負担や公共の福祉に影響を与えることから国民のニーズの高い事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	地方自治体や社会福祉法人等が設置した施設が被災した場合に補助を行うものであり、国が支援する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	被災した障害者施設等の事業再開に必要な費用を補助するものであるため、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	協議書の提出のあった被災施設に対する実地調査を行うことにより、支出先を決定しており、妥当である。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	交付要綱等により補助対象や補助率を規定し、施設の設置者にも負担を求めており、妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	被害状況により異なるため、単位当たりのコストの水準については一概に判断することはできない。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	老朽化や、管理怠慢等の災害箇所以外の整備は査定により対象外とし、災害復旧に必要な整備に限定しており、真に必要なものに限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	土地所有者との調整が難航したことにより復旧に要する費用の算出及び整備計画の見直しを行うため不用になったものであり、妥当である。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	年度内に計画できなかった案件については十分に精査を行い来年度の執行を予定しているもの。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	概ね当初の目標を達成した。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	災害復旧に要する経費の補助であり、被災地にとって有効な手段となっている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	概ね当初の目標を達成した。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	震災以前に使用されていた施設の復旧にかかる経費であるため、整備された施設は十分に活用されている。

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	東日本大震災により被災した障害者施設等の設備を復旧しようとする場合、復旧に要する費用を補助する。(定額: 10/10)
	所管府省名	事業番号	事業名	
	復興庁	20 - 0071	社会福祉施設等設備災害復旧費等補助金	
点検・改善結果	点検結果	東日大震災で被災した障害者施設等の復旧については残り10件であり、着実に復旧が進んでいる。しかし、復興計画の遅れなどにより復旧できなかった施設も残されており、これらの施設に対する補助を適切に行うことが課題として挙げられる。		
	改善の方向性	残りの復旧予定施設の速やかな復旧を図り、以て施設利用者の福祉を確保するために、本事業の適正な実施に努める。		
<b>外部有識者の所見</b>				
引き続き、事業の適切な進捗管理及び効率的な予算執行に努めること。				
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>				
現状通り	社会福祉施設等を災害復旧することは必要性の高い事業である。引き続き効率性に留意し、予算の執行を進めること。			
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>				
現状通り	引き続き効率性に留意し、必要な予算を確保しながら、適正な執行を行ってまいりたい。			
<b>備考</b>				
-				
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>				
平成22年度	-			
平成23年度	-			
平成24年度	47-2			
平成25年度	070			
平成26年度	094			
平成27年度	0094			
平成28年度	0089			
平成29年度	0072			
平成30年度	0070			
令和元年度	復興庁 - 0073			
令和2年度	復興庁 - 0071			

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

社会福祉施設等災害復旧費補助金



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

費目・用途  
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が

A.福島県			B.社会福祉法人福島県社会福祉事業団		
費目	用途	金額(百万円)	費目	用途	金額(百万円)
補助金	社会福祉法人に対する災害復旧補助	496	工事費	施設の災害復旧	496
計		496	計		496

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額(百万円)	契約方式等	入札者数(応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策(支出額10億円以上)
1	福島県	7000020070009	被災した障害者施設等の復旧に要する経費の一部を助成。	496	運営費交付金交付	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額(百万円)	契約方式等	入札者数(応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策(支出額10億円以上)
1	社会福祉法人福島県社会福祉事業団	3380005005045	施設の災害復旧	496	運営費交付金交付	-	-	